

2022年2月8日

お客さま 各位

米子信用金庫

## よなご住んで楽しいまちづくりファンドの設立について

米子信用金庫(理事長 青砥 隆志)は、米子市、鳥取銀行と協働し「新商都米子のまちづくり2021」の実現に向けた取組みとして「よなご住んで楽しいまちづくりファンド」を設立しましたのでお知らせいたします。

米子市では、2021年3月に「新商都米子のまちづくり2021」を策定し、まちなかと郊外の一体的な発展を目指しています。本ファンド設立により、まちなかに点在する空き家・空き店舗など遊休不動産について事業者の利活用を促すことで、まちの魅力向上を支援するものです。

当金庫は、自治体・地域企業等と連携し、地域の課題解決を図るとともに地域の価値向上に努め、「地域で一番ありがとうと言われるコミュニティバンク」を目指してまいります。

### 記

#### 1. よなご住んで楽しいまちづくりファンドの概要

ファンド名	よなご住んで楽しいまちづくりファンド有限責任事業組合
対象者	法人(株式会社)
対象事業	遊休不動産の利活用に関わる事業を原則として、地域の活性化につながる新たな賑わいを創出し、まちの魅力向上に資する事業
対象地域	中心市街地エリア(米子駅～商店街～角盤町、米子城跡・城下町エリア)、皆生温泉エリア、米子港周辺エリア、淀江エリア
運用期間	2022/2/1 ~ 2036/1/31
投資期間	2022/2/1 ~ 2026/1/31
ファンド総額	8,000万円
組合員	米子市、鳥取銀行、米子信用金庫
資金用途	設備資金及びそれに付随する運転資金
投資規模	1社への投資上限額は原則20百万円
回収期間	1社に対する回収期間は原則10年
その他	投資委員会を設置し、計画策定や案件の適格性についての検討や地域への波及効果等を判断します。また、組合員の総意により投資を実行します。

## 2. 「新商都米子のまちづくり2021」とは

米子市においては、商都米子の発展の礎となった「コンパクトなまち」と「充実した交通基盤」という米子市の特性を一層充実させるまちづくりを推進しています。中心市街地と郊外拠点となる場所を充実した交通基盤を活用して有機的に結び付けるとともに、ウォークアブル推進事業や米子港周辺整備事業、皆生温泉のまちづくり等、まちなかの賑わいを創出することで、市域全体の一体的な発展を図るものです。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>  
営業統括部（國須）TEL：0859-33-1247